

令和7年11月 日

安来市長 田 中 武 夫 様

安来市総合計画審議会会長 勝 部 慎 哉

第3次安来市総合計画について（答申）

令和6年11月22日付けで諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議した結果をまとめましたので、別添のとおり答申します。

なお、計画の実施に当たっては、下記の事項について留意して計画実現に努められるよう要望します。

記

1. 今後の安来市のまちづくりにおいては、将来像「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」や基本姿勢「真価（真の価値を考える）・深化（つながりを深める）・進化（チャレンジを続ける）」を様々な機会を通じて市民にわかりやすく伝えるよう努めてください。その上で、市民一人ひとりがまちの将来を「自分ごと」として考え、行動できるよう、市民参画・協働の取組や、市民のチャレンジに対する後押しや機運醸成を一層進めていくことを望みます。
2. 安来市に受け継がれてきた歴史や人々の営みを大切にし、市民の誇りとして次世代へ引き継いでいくために、若者や子どもたちの安来への愛着や定住意向を継続的に把握しながら、必要な施策を着実に進めることを望みます。
3. 人口減少を避けられない現実を踏まえつつも、将来人口目標の実現に向けて、子育て支援、雇用の確保・拡充、生活の質と豊かさの向上、移住・定住支援、地域のつながりづくりなどの地方創生施策を戦略的に推進することを望みます。
4. 地方創生の着実な推進と効果的な進行管理のため、事業の実施状況や目標の達成状況を市民とともに検証・改善し、その成果や課題をわかりやすく公表する仕組みを整えることを望みます。

以上